

赤穂市水道ビジョン

(改訂版)

～歴史ある上水道を次世代へ～



平成30年3月
赤穂市上下水道部

はじめに

水道は、生活や産業に水を供給する重要な社会インフラであり、社会基盤として欠かすことができない存在です。

本市の水道事業は、昭和19年に給水を開始し、水需要の増加、社会ニーズや環境の変化に対応しながら、有年地区の簡易水道の統合など5次にわたる拡張事業を経てきました。また、これまで効率的な事業運営を目指して計画的に施設整備を行い、更に持続可能な水道事業のために、さまざまな課題に全力で取り組んできました。

しかし、近年、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少等を要因とする水需要の減少、高度成長期の需要拡大に応じて建設した施設の老朽化、さらには全国的に頻発する大規模地震を踏まえた対策など、さまざまな課題を抱えています。また、お客様サービスの向上や環境負荷の低減への取り組みを継続する必要もあります。

一方で、安全でおいしい水を安定的に供給し、さらに将来に向けて持続させていくためには、直面する課題に対処しながら、一層の経営改善をすすめていくことも求められており、財政面での取り組みも欠かすことができません。

こうしたことから、21世紀における我が国の水道の将来像として厚生労働省が公表した「新水道ビジョン」に基づいて、地域特性や事業環境をふまえ、平成26年3月に平成33年度までを計画期間とする「赤穂市水道ビジョン」を策定しました。平成28年度で計画の半分を経過したことから、事業環境の変化を把握し、事業実施の状況のチェックを行い、さらに経営的な視点での課題への取り組みを行うために、現行ビジョンのフォローアップをしつつ「赤穂市水道ビジョン（改訂版）」を策定しました。

今後は、改訂版水道ビジョンに示した施策や事業を進めながら、経営面での改善を継続し、市民サービスの向上と持続可能な水道事業運営に向けて、職員一丸となって取り組んでまいります。

引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月



赤穂市長 明石 元秀

【 目 次 】

第1章. 赤穂市水道ビジョン改訂にあたって	1
1. 策定の趣旨	1
2. 位置づけ	2
第2章. 概 況	3
1. 赤穂市の概要	3
2. 水道事業の概要	3
1) 水道事業の沿革	3
2) 水源の種類と取水能力	5
3) 水道施設の状況	5
4) 管路の状況	7
5) 運営体制	9
6) 経営状況	10
第3章. 実現方策の評価	13
1. 取組み中の実現方策	13
2. 実現方策の進捗状況と評価	13
第4章. 水需要の予測	15
1. 人口の予測	15
2. 水需要の予測	15
3. 将来推計のまとめ	16
第5章. 水道事業の将来像	17
1. 基本理念	17
2. 目標期間	17
第6章. 実現方策の見直し	18
1. 実現方策の体系	18
2. 実現方策	19
1) 安全 ～水の安全の確保～	19
2) 強靱 ～確実な給水の確保～	33
3) 持続 ～持続可能な事業運営～	51
第7章. 今後の見通し	58
第8章. 事業計画	61
第9章. フォローアップ	62
